

はねっと 7

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

仙台の伝統行事への誇りを育む

仙台七夕和紙プロジェクト(はすのはね School)

ふくい ゆみこ

福井 有美子 さん(49)

毎年8月に開催される「仙台七夕まつり」の見どころは、市内中心部の商店街を彩る吹き流しなどの七夕飾りです。福井さんは、「仙台七夕まつりの歴史や文化を伝えたい」と、2018年に思いを同じくするクラフト作家らと、仙台七夕和紙プロジェクトを立ち上げました。祭りが終わると捨てられてしまう七夕飾りの和紙を再利用し、アクセサリーの制作・販売、扇子やハーバリウムボールペンなどを作る体験教室を開いています。年間を通じて国内外の観光客、修学旅行生、地元の人たちなどに、商品やものづくりを介して仙台七夕の魅力を発信しています。昨年の体験者は2千人以上にのびります。

福井さんは、青森県五所川原市出身です。「ねぶた祭」には、家族、地域、学校などが総出で携わり、誇りを持って全国に発信してきました。その経験から福井さんは、「仙台の方々の中には、七夕まつりに関心がない方も多いように感じる」と、こぼします。一方で、仙台で暮らすようになって30年になる福井さんも、仙台七夕まつりについて学びを深めるようになったのは、プロジェクトがきっかけです。「仙台七夕まつりは、単なる観光イベントではなく、藩祖伊達政宗公の時代から続く伝統行事なんです。もっと誇りに思っていいたいです」。魅力を知れば知るほど積もる歯がゆい思いが、活動の原動力です。

体験に参加した人たちからは、「去年の体験教室で扇子に使った和紙と同じものが、今年も吹き流しに使われていて親しみがわいた」「今年は七夕飾りをもっとよく見てみたい」という



声が届きます。福井さんは「仙台七夕の一端に触れる機会があれば、意識や見方が変わる」と、実感を込めます。今後の目標は、学校での学びや在仙外国人との国際交流に、使い終わった七夕飾りを利活用すること。多くの人たちが年間を通じて、地域の伝統行事に関わる機会を広げようとしています。

仙台七夕和紙プロジェクト

七夕飾りを再利用する活動は、2024年、第5回仙台市交流人口ビジネスコンテストにおいてビジネス部門大賞を受賞。以降、仙台七夕まつりの体験プログラムを一手に引き受けるなど、文化伝承に貢献しています。



Instagram



▲毎年廃棄されてきた七夕飾りの一部



活動を支える、人、モノ、こと「募集して」

関わってみたい人募集中！地域の居場所をみんなで育もう

仙台市若林区荒井のマンション1階にある「荒井まちのわ図書館」は、2022年にオープンした私設民営の図書館です。様々な世代の人が集まる居場所をつくろうと、特定非営利活動法人まちあす、Hugくみ、株式会社未来企画が共同で設立しました。全国各地で広がる「一箱本棚オーナー制度」という仕組みを利用し運営されており、一箱分のスペースを有料で借りるオーナーが持ち込んだ本のほか、地域の人たちからの寄贈本を読むことができます。本以外にも自由に遊ぶおもちゃなどもあり、子育て中の人や、高齢者、学校帰りの小中学生などが訪れる場です。一箱本棚のオーナーは、自分のおすすめしたい本を共有できるだけでなく、オーナー同士のSNSグループへの参加や、図書館の店番ができます。新しいつながりや出会いを楽しめることが魅力です。また、読んでもらいたい本はあるけれど、オーナーになるのは難しい人におすすめ

めなのが、本の寄贈です。一般に流通している本（ISBNコードがある本）であれば、雑誌や揃っていないコミックを除き、寄贈を受け付けています。さらに、コミュニティづくりや地域貢献に興味がある大学生におすすめなのが、本の貸し出し、返却受付などの店番を担う大学生ボランティアです。平日夕方や土日祝日の時間を中心に、自分の空いている時間に活動できます。「みんなで作る図書館」への関わり方はいろいろ。あなたのやってみたいことから始めてみませんか？

荒井まちのわ図書館

各募集内容の詳細や、
開館日時はHPから

HP▶



▲約35人のオーナーがおすすめする本が並びます。



活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

四季を通して自然を楽しもう みんなで参加できる清掃活動

仙台市若林区荒浜にある深沼海水浴場は、東日本大震災以降、遊泳禁止となっていました。昨年の夏、14年ぶりに海開きをしました。夏以外の季節も豊かな自然が広がる場所として、休日を楽しむ人の姿が増えています。

深沼ビーチクリーンとは、そんな荒浜地区を訪れる人々に「安心して過ごしてもらいたい」と行われている、深沼海水浴場の清掃活動です。震災後に立ち上がった「荒浜再生を願う会」を前身とし、地域に再び人が集まり交流するきっかけをつくっています。子どもからお年寄りまで自分のペースで作業でき、団体や企業単位での参加も可能です。申込みは不要ですので、気軽に参加してみませんか？



深沼ビーチクリーン

活動日時：毎月第2日曜日10:30～11:30
※天候等により中止になる場合もあります。

TEL 080-1019-3631

Mail f.beach.clean@gmail.com



▲最新情報は
Facebookから

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。
「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を支援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 7月9日（水）、23日（水）

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日（祝日の場合は翌日木曜日）年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

（指定管理者：特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター）

発行日 2025年7月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

